

第 5 号
昭和48年 2月1日発行
豊中・サンマテオ
姉妹都市協会
事務局 豊中市企画部
企画課(54)1121



閲覧用

ミス・カルフォルニヤ来豊！
1972年度ミス・カルフォルニヤのサンマテオ大学生キャロリン・ストーナ嬢、
友情の使節として、去る7月27日サンマテオ市より来豊。

第1回高校英語弁論大会開催

姉妹都市協会事務局

不思議な事であるが、豊中市発足以来、市及び市関係団体による英語弁論大会及びそれに類する催が一度も無かったのである。

周知の如く本市は全国屈指の教育都市であり、それだけに学童、生徒の英語のレベルも非常に高いものがあり、発表意欲も強く、他の民間主催による弁論大会に参加し、好成绩を得ていると聞き及んでいた。いうまでも無く、青少年を国際感覚豊かな人間に育てることは、我々大人の責務であり、当姉妹都市協会としては、その一助にと、又、本年がサンマテオ市との都市提携10周年に当ることでも有り、その前段として、高校英語弁論大会を開催したのである。

当初は、中学生及び高校生を対象に企画したのであるが、中学生については関係者から種々問題が提起されたので、断念せざるを得なかった。

出席者募集に当っては、第一回の事として、懸念されたのであるが、市内各高校及び民間英語教育機関の協力を得て多数の参加者があり、最終15名で実施した。又、後援としては、豊中市の積極的協力が得られ、協賛には、大阪北Y M C Aをお願いした。

大会は、47年11月18日(土)午後2時から豊中市市民会館第一会議室で開催された。まず、市村会長から「今後、青少年は、ますます国際人としての眼を養って欲しい。その為には、何と言っても、英語の習熟が一番である。当協会としては、今後ともその一翼として、力を尽すつもりである。」とのあいさつがあった。

審査員としては、大阪アメリカンセンターから、言語学

者ロバート・ベンダー博士をチーフジャッジとして招聘し、



弁論風景

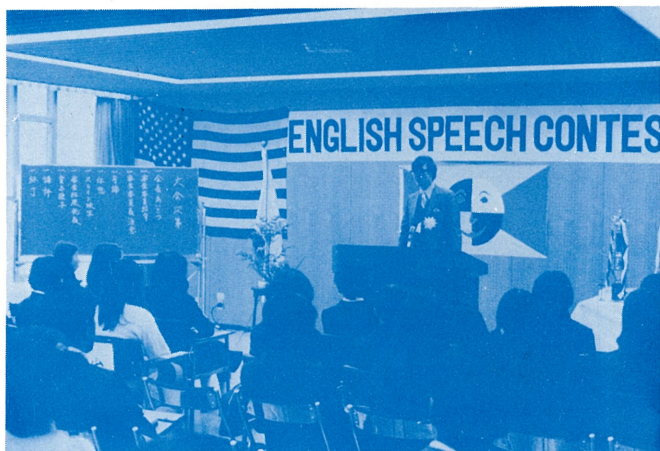
他に府立豊中高校教諭宮城弘善氏、豊中市教育研究所指導主事伊藤章氏、大阪北Y M C A講師中道元三氏、同じく大阪北Y M C A講師下村隆子氏をお願いした。会長のあいさつに続いて、チーフジャッジより注意と他の審査員の紹介があった。そのあと、直ちに弁論に入ったのであるが、出場者はあらかじめ、協会から、提示してある3つのテーマ(1)新しい教師と生徒の関係 (2)私の将来の希望 (3)私の学園生活、から自由に選択英作し発表した。

出場者は15名のうち14名までが女子高校生であり、会場は緊張のうちにも、華やかな雰囲気、応援の友人、先生、家族が約100名つめかけ、熱心に聞き入っていた。

発表者の英語は、いずれも、非常に優秀であり、最近の高校生の英語レベルの向上に一同目を瞠ったのである。採点方法は、イントネーション・プロナウンスに50点、コンテンツ・コンポジションに30点、ペアリングに20点、計100点の配点で審査されたが、いずれも甲乙つけがたく、各審員が熱心に約30分も協議した結果次の5名が入賞した。

- 優勝 五十嵐 裕子(梅花高2年)
- 第2位 原田 宏子(〃 3年)
- 第3位 木村 美加(桜塚高1年)
- 第4位 畑 知恵子(被昇天高2年)
- 第5位 奈良崎 典子(梅花高2年)

「私の学園生活」を述べて優勝した五十嵐裕子さんには、会長賞及びサンマテオ市長賞のエルカミノベルが贈られ、第2位の原田宏子さんに



は、豊中市長賞、その他の入賞者にもそれぞれ賞品と賞状

し分がないのに、スピーチとして迫力が不足しているよう



発表の瞬間

が授与された。事務局としては、非常に好評であり、又大成功であったので、引き続き本年も開催する予定である。各位の御協力をお願いする次第である。

なお、審査員会員の講評としては、「高校生らしく、すなおで非常に好感が持てた。唯もう少しユーモアがあったら、なお良かったであろう。」とのことであった。

「英語弁論大会の一審査員として」

豊中市立教育研究所
指導主事 伊藤 章

昭和47年11月18日、豊中市民会館に於て、豊中サンマテオ姉妹都市協会主催の高校生英語弁論大会が開かれ、15名の高校生が出場しました。どの出場者も大変上手で、殆んど差がつけられない程でした。弁論大会では、各出場者は、平素、捲まず捲まず練習したものをわずか数分の間に発表しますし、審査員は、その数分間に出場者の発音、抑揚、スピーチの内容、態度等を審査します。このたびの弁論大会では、テーマとして(1)新しい教師と生徒との関係 (2)私の将来の希望 (3)私の学園生活 の三つが与えられていましたが、7名が(2)を選び、8名が(3)を選んでスピーチをしました。内容に関しては、いずれも高校生らしい抱負、学校に於ける身近な事柄を素直にとりあげて論じている点で好感が持てました。発音、抑揚の面では、高校生として申

に思われるものがあつたようです。それは、論旨としてのポイントが欠けていたからではないでしょうか。従つて、スピーチがストレス(強調)のない朗読になってしまい、聴衆に感銘を与えることができなかつたのではないのでしょうか。このたびの弁論大会で、五人の審査員が審査した結果、第1位に入賞された五十嵐裕子さんのスピーチ「私の学園生活」は、学校生活の中で自分が感じた疑問を聴衆に投げかけ、樂觀的ムードを克服して自己陶冶をするにはどうすればよいか、など、聴衆と共に

自分自身も考えながら結論を導き出す方法を取られました。発声練習が十分積まれているうえに、ステージマナーも自然さがあり、論旨がしっかりしていたので、高校生としては説得力のある立派なスピーチであつたと思います。特に、最後の「決意」

"I'll stop being passive.

I'll stop depending on the other's influence over me.

I'll be active and encourage them to have a more meaningful high school life."

(訳 受動的な態度を取らないように、また、友達から影響されないようにしましょう。積極的な態度をとつて、友達をもっと有意義な高校生活を送るようにしむけてあげよう。)



審査発表を待つ

は、高校生の若さに満ちた、やる気を示すに十分な言葉だ
と思います。



市村会長より賞品を受ける優勝者五十嵐裕子さん

最後に、今後出場を希望する方のために参考になることを
申し上げます。弁論大会で立派なスピーチをするには、

で、はじめて、本大会で平素の練習と同じ位に落ち着いた
調子でスピーチができ、立派な成果を取めるようになるの
です。なお、平素、学校の授業での毎日の英語学習をなま
けないことが大切なことは申すまでもありません。今後、
一層精進して、次回の弁論大会には、より多くの男女生徒
が出場されるよう望みます。

「英語弁論大会に優勝して」

梅花高2年
五十嵐 裕子

発表を聞いた時には、正直なところ嬉しいというより驚
きの感が先でした。なぜなら、私はステージに立っていざ
しゃべろうと思った時に最初の言葉が出てこず、とちって
しまったからです。その時は、もうだめかと思いました。

それだけに、この発表はうれ
しいものでした。

学校の先生に、この SPE
ECH・CONTESTに出
てみないか、といわれて一応
「はい」と返事をしたので
すが、こういう経験のない私に
は、まずどういう文章を作っ
たらよいか、という問題につ
きあたりました。第2の難問
は、文章ができた後、どうい
う練習をして、どういう調子
でしゃべればいいのか、とい
うことでした。練習で重点を
おいたのは、抑揚、間の方
あり、一番苦心したのは、大
きな声を出していかに関音を



左より第3位木村美加(桜塚)、優勝五十嵐裕子(梅花)、第2位原田宏子(梅花)、
第4位畑知恵子(被昇天)、第5位奈良崎典子(梅花)～敬称略

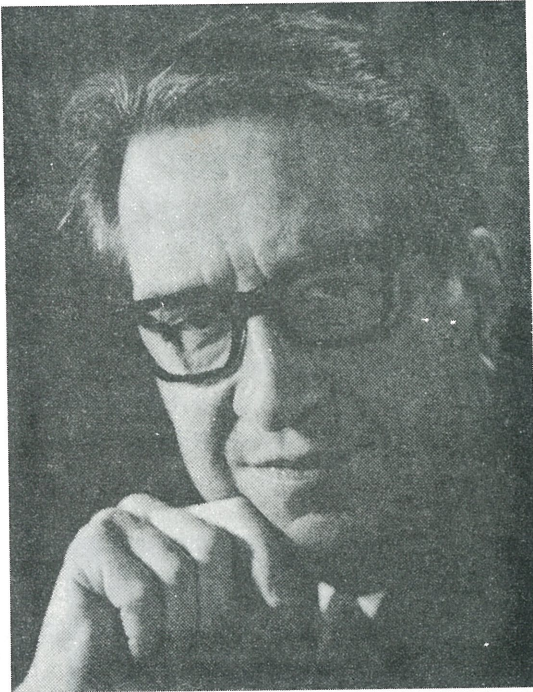
先づ、自分が選んだテーマを基にして、論旨の明確な内容
のスピーチ原稿を仕上げなければならないことは言う迄も
ありません。スピーチ原稿を自作した後、学校の英語科担
当の先生か、信頼のおける英米人に眼を通してもらった方
がよいでしょう。スピーチの内容が確定しますと、自分の
言葉として発声できるまで、十分、練習を積まなければな
りません。その際、ストレス(強調)の置言葉、単語間
のリエイゾン(連結音)、リズム、ポーズ(間)の取り方、
音声の大きさ、高さ、話す速度、表情、等に注意して練習
をしなければなりません。このように、十分な練習を積ん

まとめるかということでした。

この弁論大会を通じて、英語のむずかしさを痛感しまし
た。又、この大会が、賞をとるということではなく、自分
の発音、アクセント、イントネーションをためす最高の場
となったことをよこんでいます。今回優勝できたのは、
私が英語というものを知ってから今までに、私に英語の魅
力を教え、その魅力に引き込んで下さった先生方のおかげ
だと思っています。この大会を機会に、これからもっと
英語の勉強に力をいれてゆきたいと思います。又、チャン
スがあれば、サンマテオ市の方へも行ってみたいと思います。

—アトキンソン元企画部長来豊!!—

サンマテオ市の企画部長を8年間勤め、現在AHGAなる都市計画会社をサンマテオ市及びロスアンゼルス市内に持ち、米国都市計画協会、米国社会計画委員会、市街地委員会、土地経済協会のメンバーであるハロルド・アトキンソン氏が47年11月4日空路豊中市を訪問されました。氏は、



米国でも著名な大学、コーネル大学、イリノイ大学、カンサス大学で都市計画を教え、勿論サンマテオ大学でも、教鞭を採り、米国内で数多くの都市計画を策定し、現在なお、サンマテオ郡議会の技術委員長でありますし、豊中市が初めて迎えた都市計画専門家であります。

11月6日には、市役所で、竹内市長及び市幹部と熱の入った都市計画意見交換を行ない双方大いに得るところがありました。

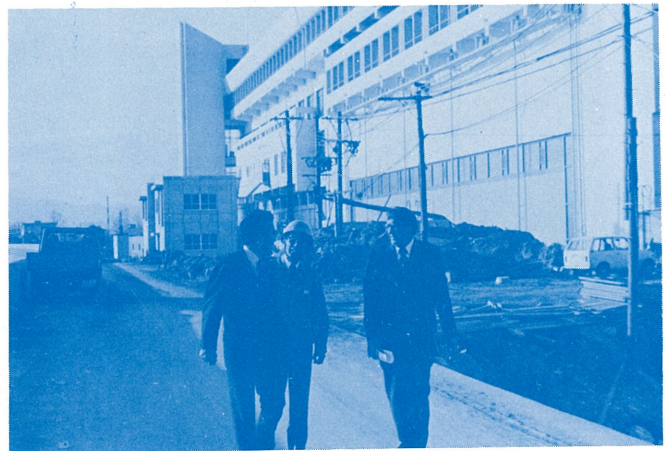
9日には、企画課職員と共に庄内の駅附近、庄内幸町、島江町、大黒町を視察しました。氏の意見としては、「なる程庄内地区は、道路も狭く、過密状態である事は否めないが、住民の生き生きとした生活態度、小ざれいに整理清掃された家や道路には一驚した。日本人の気質が



ニュータウンで企画課員より説明を聞く

うかがわれる。又、どんな処に入って写真をとっても、少しの危険もなかった。米国でならたちまち暴行を受けるであろう。ダイエー通りは誠に魅力的で、日本人のエネルギーが満ちあふれている。今後は、道を広く整備し、防災面の考慮が重要と思われる。」とのことであります。午後は、島岡三郎企画部長と、実務者同士で、彼我の都市計画について、詳細にわたり意見の交換を行ないました。

氏は、単に都市計画に精進しているだけでなく、音楽、芸術、美学、文学の各方面にわたり造詣が深く、アメリカのインテリとはどういうものなのかを感じさせる人柄でありました。今後とも、親善来豊客はもとより、彼我の文化の発展に寄与するこの様な人材を迎えることができれば、なお相互の理解親善が深まることでしょう。



建設中の庄内下水道処理場を視察

～メアリー・L・アンダーソン夫人四度び来豊～

その強烈な個性と、類を見ない親切で、サンマテオ市を訪問した豊中市民のみならず、広く各界に知られている元サンマテオ市姉妹都市協会会長メアリー・L・アンダーソン夫人は、去る11月19日（日）夜7時40分、空路大阪空港に到着しました。



再会!! 下村助役、竹内市長、アンダーソン夫人

空港には、かつて夫人に世話になった約30人が出迎えました。彼女の今回の来豊は、母国のフィリピンで、家族の仕事を終え、日本での商用の途中、豊中市を訪問されたものであります。市役所では、旧知の竹内市長、下村助役、46年の訪米旅行に参加した市職員と大いに旧交を温めました。

滞豊中は、住友銀行常務山崎勲氏宅及び浅井正氏宅に民泊されました。彼女は連日精力的に各方面を訪れ、豊中警察署では、竹林署長にサンマテオ市警察署長からのメッセージを手渡し、彼地の警察民間協力団体について、説明しました。次いで、豊中市消防本部を訪れ、同じく、サンマテオ消防署長からのメッセージを井上消防長及び中津北消防署長に手渡し、他の署員と交歓しました。又、梅花高校を訪れ、旧知の森脇教頭及び英語料教諭と会談し、第1回高校英語弁論大会の優勝者五十嵐裕子さん等を激励しました。そして、11月27日（月）午前10時30分、初冬の大阪空港を飛び立ちました。



旧知の市職員と話がはずむ

＊ 姉妹都市だより ＊

「親善訪問団来豊予定」

この度、サ市姉妹都市協会会長カールJ・リー氏及び役員ジム中田氏より、本年10月に、姉妹都市提携10周年を記念して、約40名よりなる親善訪問団を派遣するとの連絡が入りました。予定では、10月1日に東京着、各方面を観光し、10月8日に豊中に着き、約1週間豊中に滞在し、10月14日に大阪を立つ予定です。最近のアンダーソン夫人からの来信によれば、サンマテオ市長も同行するよう説得中であるとの事です。

「カラースライド届く」

過日来豊したハロルド・アトキンソン氏により、サンマテオ市紹介のカラースライド138枚がもたらされま

した。これは、サンマテオ市風景、市民の生活のようす等をかなり高度の技術で撮影されたものであります。出来るだけ多くの豊中市民に見ていただきたいものです。事務局では、早速過日の英語弁論大会の時に、休憩の間映写しました。又、事務局でも早速豊中市紹介のスライドを作成し、サンマテオ市に贈りました。

「エルカミノ・ベル届く」

去る11月、サンマテオ市長からエルカミノ・ベルのミチュアが送られて来ました。これは、サンマテオ市の歴史のシンボルであり、現物は、市庁舎の前にあります。サンマテオ市長より、英語弁論大会の優勝者に特にサンマテオ市長賞として贈られて来たものです。前述の如く梅花高校の五十嵐裕子さんが獲得しました。

短 信

昭和47年4月24日 アイアン・キャンベル氏来豊。旧知の下村助役、下村隆子嬢と懇談。



キャンベル氏と懇談する下村助役と下村隆子嬢

4月24日 ジム中田氏来豊。

4月27日～ ステーブ大岩夫妻新婚旅行の途中、豊中市を訪問。職員会館に宿泊。

7月11日～12日 黒人牧師ルース・クーパー夫妻来豊。ニュータウン、万国会場、大阪城を見学。



万博日本庭園にて、クーパー夫妻と下村隆子嬢

7月26日～ ガールスカウトリーダー市立さかえ幼稚園長山下邦子女史、被昇天高3年村司弘美嬢、ガールスカウト日本連盟京都支部企画のアメリカ大陸横断旅行の途中、サンマテオ市を親善訪問。

7月27日 1972年度ミスカルフォルニアのサンマテオ大学生キャロリン・ストーン嬢、ジョン・マレーサンマテオ市長のメッセージを携えて来庁。下村助役と会談。彼女は、愛知県弥富ライオンズクラブの交換学生として来日中であつた。



サンマテオ市長からのメッセージを受け取る下村助役

7月～ 協会員熊沢新三氏の子女、トシ子嬢、サンマテオ市を訪問。

8月1日～2日 歯科衛生士ジュリアナ・ヤング嬢来豊。竹内市長と会談の後、市内春日神社、箕面の滝、万博会場を見学。

8月3日 協会員であり、豊能エスペラント協会会長の植田高三氏、ポートランドで開かれたエスペラント世界大会に出席の途中サンマテオ市を訪問。サンマテオ市長よりサンマテオ名誉市民の称号を受け、エルカミノベルの模型を手渡される。



マレーサンマテオ市長(中央)より名誉市民の証書をさずけられる植田夫妻

8月3日 第3中学校校長細川博夫妻サンマテオを親善訪問。

8月4日 豊中中央ライオンズ交換学生、ビバリー・トベイ嬢及びリチャード・リーチ君(カナダ)来庁。市民会館で、竹内市長より挨拶を受く。

8月25日 豊中中央ライオンズ交換学生ジェフリー・ポータル君来庁。市議会議場、新千里消防出張所を見学。

8月25日 泉佐野市中央ライオンズクラブ交換学生ローレンス・ヘガリティ君来豊。下村助役と会談の後、ニュータウン、服部緑地、箕面の滝を見学。



市役所を訪れたヘガリティ君

7月25日～8月21日 協会員で市立上野小学校教諭森蔭覚子氏、国際家庭生活体験協会渡米派遣団の一員として訪米中、サンマテオ市を訪問。

11月4日～11日 元サンマテオ市企画部長、ハロルド・アトキンソン氏来豊。市幹部と都市計画について懇談。職員会館に宿泊。

11月19日～27日 元サンマテオ市姉妹都市協会会長メリー・アンダーソン女史4たび来豊。市内住友銀行常務山崎勲氏宅及び浅井正氏宅に民泊。



編集後記

・昨年は初めて、高校英語弁論大会を企画し7月頃から、市内各高校及び民間英語教育機関をまわって、協力をお願いしたのでありますが、各方面の御協力にもかかわらず、開会2週間前迄は5名の応募者を数えるのみで、事務局としては大変苦慮したのですが、その後、各高校、各機関の積極的協力により、最終15名の出場者を得られました事を、厚く御礼申し上げます。中でも、優秀な審査員を派遣下さった大阪アメリカン・センター、大阪北YMCA、豊中市立教育研究所、豊中高校、ならびに、すばらしい生徒をお送り下さったECC豊中校及び市内各高校英語担当教諭に対し、この稿を借りまして御礼申し上げます。大変好評でありまして、本年も第2回を開催したいと思いますので、何卒宜しくお願いします。

さて、本年は姉妹都市提携10周年記念の年であり、秋には、多数の親善訪問団を迎える事でもあり、事務局としても、「ガンバラナクチャ」と張切っております。何卒、各位の御協力をお願いします。

【会員募集】

個人会員 (入会金 500円
会費年額 1,000円)

学校・団体会員 (入会金 1,000円
会費年額 2,000円)

法人会員 (入会金 5,000円
会費年額 10,000円)